

「投資のソムリエ」が最優秀賞、 「未来の世界」、「しあわせの一步」が優秀賞を受賞 - モーニングスターアワード『ファンド オブ ザ イヤー2020』 -

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 菅野暁、以下「AM-One」）は2月1日、投資信託評価会社モーニングスター株式会社が選定する「ファンド オブ ザ イヤー2020」を受賞しました。

資産変動要因の分散を通して安定的な基準価額の上昇をめざす「投資のソムリエ」および「しあわせの一步」がそれぞれ最優秀賞ならびに優秀賞を、ハイクオリティ成長企業の中から割安な銘柄に厳選投資するファンド「未来の世界」が優秀賞を受賞しました。

『ファンド オブ ザ イヤー2020』アワード受賞ファンド

カテゴリー	賞	ファンド名称
安定資産（債券・バランス安定）型 部門	最優秀ファンド賞	投資のソムリエ
安定資産（債券・バランス安定）型 部門	優秀ファンド賞	リスク抑制世界 8 資産バランスファンド 愛称：しあわせの一步
国際株式型（グローバル） 部門	優秀ファンド賞	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド （為替ヘッジなし） 愛称：未来の世界

最優秀賞を受賞した「投資のソムリエ」、および「しあわせの一步」は、基準価額の変動リスクの目標値をそれぞれ年率4%程度、2%程度に抑え、幅広い資産への分散投資と配分比率の適宜変更により、マーケットが急落する局面でも大きく負けない、中長期的に安定した収益獲得を実現する運用をめざしています。

「未来の世界」は、様々な観点からの評価・分析に基づき、質が高く成長が期待できる企業の中でも割安と判断される銘柄への投資を行うファンドであり、2020年12月までの3年間の同分類ファンド内順位が、運用成績を示すトータルリターン、運用の効率性を示すシャープレシオともに上位に位置しております。

アセットマネジメントOneでは、本受賞を励みに、投資家の資産形成に資する商品・サービスの提供と運用成績の向上に引き続き努めてまいります。

以上

※P.2の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



※当該評価は、過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

【Morningstar Award『ファンド オブ ザ イヤー2020』について】

Morningstar Award “Fund of the Year 2020”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2020年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型（グローバル）部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド579本の中から選考されました。安定資産（債券・バランス安定）型部門は、2020年12月末において当該部門に属するファンド1,662本の中から選考されました。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項（詳細については投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）

グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）愛称：未来の世界（追加型投信／内外／株式）

【ファンドの費用】 ■購入時手数料：購入価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額となります。 ■信託財産留保額：換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額とします。 ■運用管理費用（信託報酬）：ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.87%（税抜1.70%） ■その他費用・手数料：組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。 ※その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。 ※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。 ※上記手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【ファンドの投資リスク】 ファンドは、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。基準価額の変動要因は、次のとおりです。

●株価変動リスク ●業種および個別銘柄選択リスク ●為替リスク ●カントリーリスク ●信用リスク ●流動性リスク

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

投資のソムリエ（追加型投信／内外／資産複合）

【ファンドの費用】 ■購入時手数料：購入価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額となります。 ■信託財産留保額：ありません。 ■運用管理費用（信託報酬）：ファンドの日々の純資産総額に対して年率1.54%（税抜1.40%） ■その他費用・手数料：組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。 ※その他の費用・手数料については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。 ※上場不動産投資信託（リート）は市場の需給により価格形成されるため、上場不動産投資信託（リート）の費用は表示しておりません。 ※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。 ※上記手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【ファンドの投資リスク】 ファンドは、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。基準価額の変動要因は、次のとおりです。

●資産配分リスク ●株価変動リスク ●金利リスク ●リーートの価格変動リスク ●為替リスク ●信用リスク ●流動性リスク ●カントリーリスク

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

リスク抑制世界8資産バランスファンド 愛称：しあわせの一步（追加型投信／内外／資産複合）

【ファンドの費用】 ■購入時手数料：購入価額に1.1%（税抜1.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額となります。 ■信託財産留保額：ありません。 ■運用管理費用（信託報酬）：ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.759%（税抜0.69%） ■その他費用・手数料：組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。 ※その他の費用・手数料に

については、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。※上場不動産投資信託（リート）は市場の需給により価格形成されるため、上場不動産投資信託（リート）の費用は表示しておりません。※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。※上記手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【ファンドの投資リスク】 ファンドは、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。基準価額の変動要因は、次のとおりです。

●資産配分リスク ●株価変動リスク ●金利リスク ●リーートの価格変動リスク ●為替リスク ●信用リスク ●流動性リスク ●カントリーリスク

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

【ご注意事項】

当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。お申込に際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

各ファンドは、実質的に株式、債券、リーートの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。

当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は、1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【アセットマネジメントOneについて】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約54兆円と国内有数の規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

H P : <http://www.am-one.co.jp/>

※運用資産残高は2020年9月末時点。

商号等 / アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会